

## 平成 29 年度健康づくり訪問指導事業について

## 1 目的

同一疾病で複数の医療機関を受診している被保険者等に対し、保健師等が訪問し、本人及びその家族に対して健康教育や健康相談、療養方法等の必要な保健指導を行い適正な受診の啓発を図ることで、効率的な受診を意識する機会とし、被保険者の健康保持増進に資することを目的とする。

## 2 事業内容

定義及び対象者の選定

(1) 定義：同一疾病で複数の医療機関に受診が 3 か月継続している者を重複受診者とい  
い、1 か月におけるレセプトが 5 枚以上、外来の通院日数が 15 日以上の者  
を頻回受診者という。

(2) 対象者の選定：保健師等が重複受診者及び頻回受診者に係る直近 3 か月程度のレセ  
プトにより、疾病と投薬内容、通院日数等を勘案して訪問指導が必要  
な者を選定。

## 3 実施状況

各年度の実施状況

年度 区分	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
訪問対象者数	220 名	220 名	200 名	200 名
訪問実施者数	197 名	189 名	166 名	167 名
訪問未実施者数	23 名	31 名	34 名	33 名
対象レセプト	H28 年 11 月～ H29 年 1 月診療分	H27 年 11 月～ H28 年 1 月診療分	H26 年 11 月～ H27 年 1 月診療分	H25 年 11 月～ H26 年 1 月診療分

※訪問未実施者数は、訪問拒否や不在等により訪問できなかった人数

## 4 今後の計画

平成 29 年度は、直営(26 名)と受託可能な市町村(118 名)及び民間団体(53 名)  
へ委託し実施した。平成 30 年度については、直営(25 名)と受託可能な市町村(130  
名)及び民間団体(65 名)で実施し、市町村及び民間団体に委託した事業効果等を検証し  
平成 31 年度以降の事業展開を検討する。

## 平成29年度健康づくり訪問指導事業の分析評価について

平成29年度に実施した標記事業について、以下のとおり、PDCAサイクルの4ステップを用いて分析評価を行った。

### 1 事業目的（PLAN）

同一疾病で複数の医療機関を受診している被保険者等に対し、保健師等が訪問し、本人及びその家族に対して健康教育や健康相談、療養方法等の必要な保健指導を行い適正な受診の啓発を図ることで、効率的な受診を意識する機会とし、被保険者の健康保持増進に資することを目的に、平成29年度健康づくり訪問指導事業を実施した。

### 2 事業概要（DO）

平成28年11月診療分から平成29年1月診療分までの3か月のレセプト情報を基に、実施要領に記載する重複・頻回受診者の要件を満たす対象者を全県から7,444名を抽出した。

これらのレセプト内容を確認したうえで、今年度は市町村の受託可能件数等を考慮し、指導を要する220名の訪問対象者を選定した。その後、対象照会による除外等のために、10名を追加で選定し、最終的な選定件数は230件となった。

このうち、訪問拒否24名、入院1名、資格喪失1名、対象照会による除外7名により、計33名を訪問できなかったことから、実際の訪問実施者数は197名となった。

区分 \ 年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
訪問対象者数	220名	220名	200名
訪問実施者数	197名	189名	166名
対象レセプト	平成28年11月～ 平成29年1月診療分	平成27年11月～ 平成28年1月診療分	平成26年11月～ 平成27年1月診療分
訪問期間	8月22日～12月6日	8月1日～12月5日	8月9日～11月30日
訪問市町村数	25市町村	25市町村	25市町村

### 3 事業経過 (DO)

訪問期間は、平成29年8月22日～平成29年12月6日

訪問にあたり、アンケート形式の聞き取りと、次の事項について、4種類の冊子を用いて助言・指導を行った。

#### (1) 適正受診に関する指導

107件(54.3%)に指導実施。

かかりつけ医の有無を確認し、かかりつけ医の役割や必要性等について、冊子「正しいお医者さんのかかり方・薬とのつきあい方」を活用するなどして説明した。また、医師に対する「症状や他科受診状況の伝え方や心配なこと・気になることの相談の仕方」等を指導した。

#### (2) 服薬管理やお薬手帳活用の指導

151件(76.6%)に指導実施。

薬の効能を理解しているか、服薬時間や服薬量を守っているか、飲み残しがないか等を把握した上で、必要な指導を行った。また、薬剤師への相談の仕方(残薬等)やお薬手帳の活用・ジェネリック医薬品の利用についても指導した。

#### (3) 運動や生活活動の指導

167件(84.8%)に指導実施。

日頃の運動や生活活動について把握した上で冊子「心身の衰えを予防・回復していきいき人生を送りましょう」、「新健康講座Q&A」、「介護予防体操」を活用しながら個々の状況に合わせて足腰の筋力を鍛える運動やストレッチ運動・転倒予防の運動等実技を取り入れながら指導した。

また、既に行っている運動については継続を指示すると共に散歩・外出・趣味等についても指導した。

#### (4) 食生活に関する指導

144件(73.1%)に指導実施。

日頃の食事状況を把握した上で冊子「心身の衰えを予防・回復していきいき人生を送りましょう」、「新健康講座Q&A」を活用して、高血圧症や糖尿病等の個々の疾患や食生活に合わせて減塩・栄養バランス・食事の量・低栄養防止等について指導した。また、一人分の買い物の工夫や調理方法等についても指導した。

#### (5) 介護・福祉サービス利用方法の指導

60件（30.5％）に指導実施。

介護サービスや福祉サービスの内容や利用方法について指導するとともに、地域包括支援センターやケアマネージャー等への連絡方法等についても指導した。

#### (6) その他の指導

60件（30.5％）に指導実施。

検査結果の見方、予防接種、健診（がん検診や他の健診）、水分摂取、喫煙による健康リスクの周知及び禁煙の呼びかけ、体重管理、睡眠、めまい、風邪の予防、火器の取り扱い、ヒートショックの防止、マッサージ、事故防止、傾聴（病気に対する思い等）、後期高齢者医療（自己負担限度額）等多岐に及んだ。

### 4 検証（CHECK）

#### (1) 検証方法

訪問実施者197名について、訪問前のレセプトデータと訪問後3か月間のレセプトデータにより、効果を検証した。

訪問前レセプトデータ 平成28年11月～平成29年1月

訪問後レセプトデータ 平成29年11月～平成30年1月

#### (2) 成果について

平成29年度の訪問指導による成果は、次のとおりとなっており、例年の事業実績と比較し、今年度の特色を考察した。

	H27 年度	H28 年度	H29 年度		
対 象 者 数	200	220	220		
訪 問 実 施 数	166	189	197	・指導前後で、重複受診者については、医科日数は減少したが重複改善までは至らなかった。頻回受診者については、レセプト件数または通院日数の減少が見られた。	
内 訳	重複受診者	7	4		1
	指導後改善者	1	0		0
	改善率	14.29%	0%		0%
内 訳	頻回受診者	159	185		196
	指導後改善者	113	131		135
	改善率	71.07%	70.81%		68.87%
医 科 の 効 果					
指導前の日数	5,311	6,502	6,565	・訪問後に入院したために、訪問前より医療費が50万円以上増加した対象者が10名おり、その10名の訪問後の医療費が訪問前に比べ約1,545万円の増額となったため、全体的に363万円の増額となった。 ・参考までに、頻回が改善した135名分については、医療費396万円の減額となった。	
指導後の日数	4,319	4,600	4,084		
改善率	18.7%	29.3%	37.8%		
指導前の件数	1,767	2,274	2,302		
指導後の件数	1,495	1,896	1,602		
改善率	15.4%	16.6%	30.4%		
指導前の費用額	24,045,420	38,124,840	32,430,480		
指導後の費用額	32,415,510	39,170,980	36,063,910		
改善率	0%	0%	0%		
指導前1件当たりの費用額	13,608	16,766	14,087		
指導後1件当たりの費用額	21,682	20,660	22,511		

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	
調剤の効果				
指導前の件数	1,166	1,353	1,813	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導前後で件数減少、費用額の減少が大幅に見られる。</li> <li>・お薬手帳の活用や適切な服薬管理の指導の成果であると考えられる。</li> <li>・今後も、お薬手帳の適切な使用の指導をより進めていく必要がある。</li> </ul>
指導後の件数	1,024	1,223	1,288	
改善率	12.2%	9.6%	29.0%	
指導前の費用額	12,385,430	17,857,670	14,391,990	
指導後の費用額	11,755,180	13,814,070	11,731,240	
改善率	5.1%	22.6%	18.5%	
指導前1件当たりの費用額	10,622	13,198	7,938	
指導後1件当たりの費用額	11,479	11,295	9,108	
訪問市町村数	25	25	25	

## 5 本事業の現状と展望について（ACTION）

### （1）現状

対象者の選定は、広域連合が雇用する保健師2名が4か月間という期間を要して行っている。選定方法は、事務担当者が機械的に重複頻回受診者約7,500名を抽出し、そのうち市は84歳以下、町村は年齢制限無しで対象者約2,300名を再抽出し、対象者一覧を作成している。

対象者一覧の中から保健師2名が生活習慣病を中心に約330名を抽出し、そのレセプトを目視で、同一疾病での重複受診、調剤の重複処方、さらには世帯構成などを確認し、訪問による効果が上がりやすい被保険者を選定する方法を採っている。

平成29年度は、市町村や在宅保健師の会へ訪問指導業務の外部委託を行い、4月から7月までに選定する事業委託分、7月から8月の間に、直営で9月以降に訪問する対象者の選定を行い、結果的に230名を選定した（拒否などにより訪問しなかった者を含む）。

### （2）課題

現行の手作業による対象者の選定は、訪問の効果があがりやすいと思われる対象者を選定することができる反面、時間と手間がかかるという面もある。国保データベース（KDB）等の情報を活用して、より効率的な対象者の抽出が可能となれば、より多くの被保険者に対して指導を行うことができるものと考えられる。また、訪問後に保健師が電話にて健康状態を聞き取りしている事例もあるが、現状1人の対象者につき1回限りの訪問指導となっている。対象者の中には、継続的に指導を行うことが望ましい方もいると考えられるので、継続的なフォローの仕方を検討する必要がある。

### （3）本事業の展望について

本事業については、頻回受診の改善等、一定の効果が認められるため、継続的に事業を行い、上記の課題を改善するような取り組みが望まれる。

今後、当広域連合における効果的かつ効率的な保健事業のあり方を検討し、市町村、民間団体、その他関係団体と連携しつつ、他の保健事業とのバランスを取りながら、本事業を推進していく必要がある。

平成29年度健康づくり訪問指導事業 効果分析表（市町村別）

市町村	訪問者数	訪問前3か月計(H28.11~H29.1)						訪問後3か月計					
		医科			調剤		医療費	医科			調剤		医療費
		日数	件数	医療費	件数	医療費	(医科+調剤)	日数	件数	医療費	件数	医療費	(医科+調剤)
秋田市	75	3,133	892	13,109,130	725	5,831,550	18,940,680	2,056	662	15,389,950	537	4,709,800	20,099,750
能代市	3	76	38	408,120	20	229,290	637,410	38	27	254,520	10	67,280	321,800
横手市	10	326	122	1,118,500	103	880,820	1,999,320	147	82	2,794,030	66	643,150	3,437,180
大館市	6	292	65	924,490	37	280,830	1,205,320	128	22	1,766,480	14	173,140	1,939,620
男鹿市	9	165	102	1,270,610	73	651,520	1,922,130	123	82	1,202,040	48	347,060	1,549,100
湯沢市	9	230	98	1,219,530	81	532,390	1,751,920	87	61	578,770	55	388,260	967,030
鹿角市	4	60	40	457,910	33	233,130	691,040	28	21	247,560	19	163,900	411,460
由利本荘市	11	380	129	1,599,500	129	905,620	2,505,120	196	96	806,240	101	714,520	1,520,760
潟上市	4	73	37	395,210	30	324,180	719,390	88	38	728,470	33	295,660	1,024,130
大仙市	9	287	122	1,419,040	114	782,940	2,201,980	186	78	913,900	73	797,220	1,711,120
北秋田市	7	135	72	883,260	61	367,500	1,250,760	76	36	604,630	23	242,150	846,780
にかほ市	7	212	87	1,259,150	73	427,040	1,686,190	164	69	853,990	66	443,120	1,297,110
仙北市	4	203	47	1,612,310	28	282,080	1,894,390	132	43	467,550	20	291,740	759,290
小坂町	3	72	21	202,900	25	198,050	400,950	54	11	108,380	19	156,500	264,880
上小阿仁村	1	15	10	105,420	7	89,640	195,060	8	7	41,450	5	64,520	105,970
藤里町	4	107	40	976,600	20	147,750	1,124,350	60	12	282,820	4	78,400	361,220
三種町	4	144	60	1,513,420	33	318,990	1,832,410	160	47	4,446,210	23	316,660	4,762,870
八峰町	3	92	40	617,640	20	181,750	799,390	58	16	226,220	13	151,760	377,980
五城目町	5	110	64	688,560	55	443,450	1,132,010	77	51	754,020	49	630,190	1,384,210
八郎潟町	4	77	50	767,240	35	318,790	1,086,030	32	28	180,910	24	264,940	445,850
井川町	1	43	6	68,660	3	33,980	102,640	18	6	174,860	4	67,200	242,060
大潟村	2	29	22	274,010	21	202,140	476,150	34	20	2,052,990	18	152,820	2,205,810
美郷町	8	149	96	1,031,840	60	561,740	1,593,580	99	63	908,570	43	403,190	1,311,760
羽後町	3	90	32	375,300	21	151,850	527,150	35	24	279,350	21	168,060	447,410
東成瀬村	1	65	10	132,130	6	14,970	147,100	0	0	0	0	0	0
合計	197	6,565	2,302	32,430,480	1,813	14,391,990	46,822,470	4,084	1,602	36,063,910	1,288	11,731,240	47,795,150